

しむかっぷ

ぎかいだより

No.186

2026年 5月号
(令和8年)



トマム保育所



占冠保育所

メープル工房が運用開始

地域活性化起業人でデジタル化を推進

📷 今月の表紙 「入園おめでとう」

4月3日(金)に行われた占冠保育所、トマム保育所入園式の1コマ。



≪ 議会広報や議事録全文は
村ホームページでご覧になれます。 ≫

- 第2回定例会 p 2
- 村長行政報告・第1回臨時会 p 5
- 村政執行方針質疑 p 6
- 教育行政執行方針質疑 p 9
- 予算特別委員会 p11
- 一般質問 5議員 p15
- 議員派遣 p19
- 議員の主なうごき p20

が運用開始 でデジタル化を推進

令和8年 第2回定例会

- 会 期 3月5日から12日まで（8日間）
- 一般質問 5議員
- 審 議 条例、令和7年度補正予算、令和8年度予算など計26件をすべて原案どおり可決
- 傍 聴 5日…2人 6日…1人 9日…1人 12日…1人

議 決

▼指定管理者の指定（道の駅自然体感しむかつぶ）

令和8年4月1日から令和11年3月31日までの期間で、再度NPO法人占冠・村づくり観光協会を指定するものです。

質 疑

問 木村議員

村はこの法人が道の駅を管理する能力があると考えているのかお尋ねします。



平岡企画商工課長

これまでの管理運営において運営的な視点が不足していたことは否めませんが、自主事業の推進など村の意見を伝

えており、取組に変化も見られていることから、指定管理者として担うべき能力を有していると判断し選定に至りました。

▼占冠村過疎地域持続的発展市町村計画の変更

現計画の計画期間が令和7年度で終了するため、新たに令和8年度から12年度までの計画を盛り込むなど所要の変更を行うものです。

条例の制定・一部改正

▼占冠村特用林産物等加工施設設置条例の制定

新たに整備されたメープル工房の設置及び管理に必要な事項を定めるものです。

質 疑

問 下川議員

日額使用料とは、何を想定

したのですか。

鈴木農林課長

メープルシロップ製造の見学や視察で利用される方のうち、村外の方から頂く考えです。



問 小尾議員

月額使用料1万4,500円の算出根拠を伺います。



鈴木課長

建設工事費から企業版ふるさと納税、国の第2世代交付金、過疎債の交付税措置分の額を減じた取得価格に対応する減価償却費相当額に、建物保険料を加えて算出しました。

問 木村議員

樹液を採取するイタヤカエデの枯渇が懸念されるが、資源量調査は考えていますか。

鈴木課長

今から10数年前にニニウ地

区の資源量調査を行っており、現時点での調査は必要ないと考えています。資源は豊富にあり、枯渇する心配もありません。



メープル工房見学会【3月28日】

▼占冠村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

▼占冠村特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定

こども誰でも通園制度の創設に伴い、施設の設備・運営等の認可基準、事業者が給付を受けるために必要な基準などを定めるものです。

質 疑

問 下川議員

令和8年度は占冠保育所で

メープル工房 地域活性化起業人

1名の利用が予定されているとのことですが、現状の職員体制では最大何名の利用が可能なのか伺います。

石坂福祉子育て支援課長

1名の利用を想定した体制としていますが、複数の希望があった場合は保護者との面談により調整する考えです。

こども誰でも通園制度とは…

親の就労の有無に関わらず、生後6か月から満3歳未満の未就園児を対象に、保育園や認定こども園などを「月10時間」の枠内で時間単位で気軽に利用できる制度です。

「子育て家庭の孤立を防ぐ」「お子さんに集団での遊び場を提供する」等を目的としており、リフレッシュや通院、習い事など、どのような理由でも利用可能です。

占冠村では4月より「占冠保育所」で実施しています。詳しくは福祉子育て支援課までお問い合わせください。

▼湯の沢保養施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

4月1日から大人700円、湯の沢温泉の入浴料金を、

(改正前550円)、小人350円(同220円)に改正するものです。

質疑

問 小尾議員

温泉施設の現状から、大人700円の設定は高すぎであり、逆に村民利用の330円は安すぎると思うが認識を伺います。

平岡課長

施設の老朽化は否めませんが、近隣温泉施設の利用料を調査し、同程度に設定しました。村民料金は村民憩いの場として利用いただくためにも据置としました。



湯の沢温泉

問 木村議員

今回の改正により集客が減り、指定管理料の引き上げにつながる可能性があると思うが、考えを伺います。

平岡課長

集客への影響については指定管理者とも議論しましたが、昨今の施設では妥当な金額であり、そのことで集客が大幅に減ることは想定しておらず、逆に増収を見込んでいます。仮に減収となっても村が補填する考えは持っていません。

▼占冠村地域企業振興条例の一部改正

条例の期限を令和11年3月31日まで延長するとともに、特産品開発支援事業の支援措置を拡充するものです。

質疑

問 木村議員

開発した特産品がふるさと納税返礼品に登録されれば、支援の回数に上限を設けないとのことですが、青天井に支援を続けることに問題はありませんか。

平岡課長

返礼品の拡充に対する機運も高まっており、寄付額を増

やすためにも特産品開発に対する支援を拡充したいと考えています。

再問 木村議員

開発に対する支援自体は否定しないが、例えば新たな返礼品の取扱い実績が1件でも支援対象となるのは問題ではありませんか。

平岡課長

返礼品の登録は総務省のルールに従って村が決定するものです。登録の申請があった特産品全てを返礼品として認める訳ではなく、しっかりと判断しながら制度を活用する考えです。

▼占冠村定住促進条例の一部改正

条例の期限を令和11年3月31日まで延長し、マイホーム奨励事業、小規模事業者支援事業の支援措置を拡充するとともに、小規模事業承継支援事業を新設し、新規開業のほか事業承継をした場合も奨励措置の対象とするものです。

▼占冠村保健事業検診受診料徴収条例の一部改正

村が実施する検診事業の検査項目に、40歳以上の女性を対象とした骨粗しょう症検査

を新たに追加するものです。

▼占冠村青少年問題協議会
条例の廃止

戦後の混乱期における少年の非行防止や矯正を目的として制定したものであり、その役割が別組織に移行していることから廃止するものです。

質疑

問 木村議員

本来はもつと以前に廃止すべき条例と思われるが、この時期となった理由を伺います。

石坂課長

平成26年の地方青少年問

題協議会法改正以降、各市町村において段階的に廃止されています。本村では毎年協議会を開催してきましたが、昨今の背景を踏まえ、協議会での議論を経て廃止を提案するものです。

人事案件

▼固定資産評価審査委員会
委員の選任同意

字中央 窪田 敏雄氏（新）

令和7年度補正予算

（一般会計 第10号補正）

問 木村議員

双民館使用料収入で

26万6,000円が計上されたが、運営経費に約600万円を要しており、費用対効果に疑問があるが考えを伺います。

鈴木課長

交流促進施設の位置付けのため、多くの収益を望める施設ではありませんが、酪農学園大学生の利用が多く、村の野生鳥獣対策として金額以上の貢献をいただいていると認識しています。

問 木村議員

带状疱疹ワクチン接種委託料が270万円もの大きな減額となった理由を伺います。

伊藤住民課長

今年度より65歳以上の方の任意接種を開始し、定期接種分と合わせて121人分を予算計上しましたが、現時点で33人の接種にとどまっていることから減額するものです。

問 木村議員

森林環境譲与税を活用した事業予算の大半が減額されており、計画が甘いと言わざるを得ません。見解を伺います。

鈴木課長

事業体からの要望を踏まえて予算化したものの、結果として事業体が見

送った事業もあります。計画が甘いという指摘はそのとおりであり、反省しています。

問 木村議員

今冬は雪が少ないにもかかわらず、村道除雪委託料を800万円増額する理由を伺います。

岡崎建設課長

本日もトナム地区で大雪となっており、急な大雪に速やかに対応できるように補正するものです。

問 小尾議員

避難所（占冠中学校）設備改修工費が526万円という大きな減額となっている理由を伺います。

木村教育次長

入札の結果による執行残であります。

問 小尾議員

黒瀬の沢小規模治山工費が480万円減額となった理由を伺います。

鈴木課長

北海道への事業要望1,800万円に対し、1,300万円の予算配分と

令和7年度 補正予算

一般会計(第10号) 1億750万円減

総額 35億4,120万円→34億3,370万円

- ・占冠村ふるさと納税・地方創生基金積立金505万円増
- ・地方公共団体情報システム標準化・共通化7,098万3,000円減
- ・ガバメントクラウド利用料...2,128万5,000円減
- ・村道除雪委託料800万円増
- ・村内学校避難所等無線環境整備委託業務778万3,000円増
- ・執行予算残の整理による減額など

国民健康保険(第3号) 130万円減

総額 1億2,750万円→1億2,620万円

- ・国保財政調整基金積立金120万円増
- ・執行予算残の整理による減額など

村立診療所(第3号) 100万円減

総額 8,740万円→8,640万円

- ・執行予算残の整理による減額など

後期高齢者医療(第2号) 40万円減

総額 2,380万円→2,340万円

- ・執行予算残の整理による減額など

歯科診療所(第2号) 10万円増

総額 2,350万円→2,360万円

- ・燃料費、光熱水費14万円増
- ・歯科診療所受診者送迎委託料6万3,000円減など

簡易水道(第5号) 237万6,000円減

収益的支出総額
1億4,540万5,000円→1億4,512万9,000円
資本的支出総額
8,727万9,000円→8,517万9,000円

- ・執行予算残の整理による減額など

公共下水道(第4号) 20万円減

収益的支出総額
9,876万4,000円→9,856万4,000円

- ・執行予算残の整理による減額など

※簡易水道、公共下水道については歳入と歳出総額が異なるため、歳出総額を記載しています。



村長の行政報告

ペットボトルの水平リサイクルの実施について

ペットボトルの水平リサイクルとは、使用済みのペットボトルを新たなペットボトルに再生する「ボトルtoボトル」の仕組みです。資源を繰り返し利用することで、新たに石油由来原料

からペットボトルを作る場合比べて二酸化炭素を削減でき、資源循環の効率性が高まる取組とされています。

2月9日、占冠村及び富良野市、中富良野町、南富良野町は、中富良野町にある富良野生活圏資源回収センターに集められたペットボトルの水平リサイクルを推進するため、「アサヒ飲料株式会社」「ジャパンテック株式会社」「ペットリファインテックノロジー株式会社」の3者と「ペットボトルの水平リサイクルの実施に関する協定」を締結いたしました。



水平リサイクル協定調印式

本村としましては、この協定締結を契機に、より一層脱炭素社会の実現と環境に配慮した村づくりを目指してまいります。

なったことから減額するものです。

【国保会計 第3号補正】

問 木村議員

国民健康保険税が約1割減額となった要因を伺います。

伊藤課長

被保険者数、世帯数は当初予算算定時より増えていますが、所得の低い外国人の割合が増えたため減収となりました。

【診療所会計 第3号補正】

問 木村議員

外来収入の減額理由を伺います。

伊藤課長

定期患者数の減少、後期高齢者への移行による診療報酬の減少によります。

【歯科診療所会計 第2号補正】

問 木村議員

トマム地区から占冠歯科への受診者送迎委託料が減額されているが、利用実績を伺います。

伊藤課長
1件の利用です。

問 木村議員

2週に1日の隔週診療となつているトマム歯科について、解消に向けた進展はありますか。

伊藤課長

歯科医師とも協議していますが、当面は隔週の診療を継続する考えです。引き続き毎週の診療再開に向けて努力します。

令和8年 第1回臨時会

- 会 期 1月21日（1日間）
- 審 議 令和7年度補正予算1件を原案どおり可決
- 傍 聴 0人

問 木村議員

物価高騰食料品支援事業の内容を伺います。

平岡課長

国の補正予算で成立した物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、村民一人当たり1万円の占冠村共通商品券を配布し、物価高騰に係る住民への支援と村内での経済循環による事業者支援につなげるものです。

問 木村議員

衆議院議員選挙のポスター掲示場設置委託料について、除雪対応が十分加味された内容となっているか伺います。

三浦総務課長

ポスター掲示場は従来の箇所全てに設置する予定であり、必要な除雪作業も加味した内容としています。



占冠村共通商品券

令和7年度 補正予算

一般会計(第9号) 6,610万円増

総額 34億7,510万円→35億4,120万円

- ・ 財政調整基金積立金…………… 4,317万8,000円増
- ・ 衆議院議員選挙関係経費…………… 440万円増
- ・ 物価高騰食料品支援事業…………… 1,684万4,000円増
- ・ 村営住宅修繕料…………… 442万1,000円増 など



2 安全で安心な暮らしを守る基盤づくり

1 暮らしの基盤づくり

- (1)道路
- (2)村営住宅
- (3)上下水道
- (4)環境衛生
- (5)地域交通
- (6)地域協働への取組
- (7)防災対策

2 地域医療の充実と住民ニーズに即した福祉施策

- (1)高齢者福祉
- (2)地域福祉・障がい者福祉
- (3)保健・医療
 - ①保健予防
 - ②母子保健
 - ③国民健康保険事業
 - ④村立診療所及び歯科診療所

3 未来を託す子どもの環境づくり

- 1 子育て支援の充実
- 2 学習環境の整備
- 3 特色ある教育

主な施策

1 持続可能な地域づくり

- 1 未来を拓く村政
 - (1)地方自治・地方創生の推進
 - (2)集落対策の推進
 - (3)持続可能な森づくりの推進

2 経済循環が図られる基幹産業の振興

- (1)農業
 - ①酪農・畜産
 - ②畑作振興
 - ③担い手対策
- (2)林業
 - ①村有林の管理・経営
 - ②私有林の育成支援
 - ③林業事業体への支援
 - ④野生鳥獣対策
 - ⑤林業の六次産業化
- (3)商工・観光・労働
 - ①商工振興
 - ②観光振興
 - ③双民館
 - ④労働

3 地域特性を生かした集落対策、移住・定住・関係人口の拡大

- (1)移住・定住
- (2)個人版ふるさと納税と企業版ふるさと納税

※執行方針の全文は、広報しむかつぶ4月号をご覧ください。

下川 園子 議員

1 住民や関係機関との対話

問 今何が必要なのか、今後どうしたら良いのか、何をすべきかを見極めながら政策を前に進めるには、住民や関係機関との対話が重要になると思いますが、考えについて伺います。

田中村長 情報提供や対話は大事なことです。行政懇談会・移動村長室・行政区長会議等をはじめ、お年寄りから労働者、子ども等各種団体の会議や委員会等にも可能な限り出席し、様々な方々のご意見を伺いながら政策に反映します。

2 高等教育までの施策拡充

問 これまで「出産から中等教育までの施策拡充」と述べていたものが「高等教育まで」に変わりました。具体的な施策を伺います。

田中村長

子育ては最終教育までが責任であり、子どもをしっかり育てる環境整備が必要です。施策の拡充について具体案はありませんが、現在専門職の人材不足が課題

であり、給付型の奨学金制度なども検討する必要がありますと考えています。

3 地域活性化企業人制度の活用

問 どの分野での活用を予定しているのか伺います。

田中村長

地域活性化企業人は、民間企業等に所属する人材が本業を継続しながら、副業という形で自治体の業務に参画し、地域課題や政策促進に専門的な知見を生かしていたたく仕組みです。本村のデジタル化を進めていく上での第一歩となる庁内の現状把握、方向性や計画の策定に向け伴走いただくことを考えています。

小尾 雅彦 議員

1 防災対策

問 村も被災地となる可能性があります。村も被災地となる可能性がありますが、どのような災害を想定し、備えを講じていく考えか伺います。

田中村長

大雨水害、風雪害、地震災害などが想定されます。これらの備えとして、現在整備中の防災行政無線やS

NS等を活用した情報発信、避難体制の強化に加え、洪水ハザードマップや土砂災害警戒区域図の周知徹底を図ります。

2 教育環境の整備

問 学校教育における情報通信技術に対応した教育環境の整備内容と、先のGIGAスクール構想との関係性を伺います。

田中村長

今回はGIGAスクール構想第2期として、第1期に整備した端末の更新を行い、全ての子ども達の可能性を引き出す最適な学びを実現させようとするものです。

3 野生獣被害防止対策

問 侵入防止柵設置事業の内容を伺います。

鈴木課長

7経営体で約6,000メートルを予定しており、隣接する経営体同士で共同設置するとお聞きしています。

4 林業事業体への支援

問 昨年度、村内事業体1社が廃業され、林業労働者

の減少が危惧されます。福利厚生分野での手厚い助成策が求められますが考えを伺います。

田中村長

新たに就労した林業労働者に対し住宅補助等を行うなど、道内でも先進的な取組を実施しています。安全対策においても事業者からの要望を受け、対象範囲を拡大しています。

5 小規模事業者への支援

問 転入者に対する開業支援の拡充内容を伺います。

平岡課長

小規模事業者の開業支援として、従来の商品券20万円分に加えて、転入者の場合は更に現金30万円を追加で交付するよう改めます。

6 村営バスの更新

問 村営バス1台の更新内容と購入スケジュールを伺います。

田中村長

24人乗りのマイクロバスを購入予定です。令和8年度内の納入を見込んでいますが、自動車関係の納期が遅れる傾向にあり、年度内

に間に合わない場合は繰越手続きを行い対応します。

木村 一俊 議員

1 少子・高齢化、人口減少の解消

問 構造的課題ですが、解消に向けた歩みを止めてはなりません。具体的な対策を伺います。

田中村長

住む場所として選ばれるよう、子育て支援や住宅対策、定住化対策を意識しながら政策を進めていく必要があると考えます。

2 地域を元気にする施策の実施

問 国においては、責任ある積極財政で8つの重点テーマ、17の戦略分野で経済成長を目指す方針ですが、村ではどういった施策を目指しますか。

田中村長

まち・ひと・しごと総合戦略の見直し時期であり、総括する中から効果的な戦略となるよう前に進めます。

3 道東道4車線化工事で経済循環を

問 経済循環の起爆剤となる

ものと期待されますが、どのように循環を図りますか。

田中村長

飲食に関わる産業に課題があることを認識しています。事業者からも同様の声が聞かれます。早い時期にこうした問題が解消され、地域経済が活性化するよう努力します。

4 行財政の効率化とは

問 村長が考える効率化は何なのかを伺います。

田中村長

行政を維持し、有効な政策を進めるためには、持続可能な財源をいかに作るかが大事です。併せて、政策実行の取捨選択も必要であり、収入と支出のバランスを取りながら持続可能な財政を維持していかねばなりません。

5 村の農業課題は

問 農地が減少傾向であることに加え、8年度は新規就農等支援対策補助金が予算計上されていません。新規就農に対する考えをお聞かせください。

田中村長

村は新規就農対策をやめた訳ではありません。現状難しい環境ではありますが、離農後の農地をしっかりと守り、新たな就農につなげていけるよう努力します。

6 林業事業者の育成は

問 村の林業振興にあたっては林業事業者の育成が急務ですが、どのように育成を図りますか。

田中村長

過去には大規模な木工場や林業事業者が多数ありましたが、現状では中小零細事業者のみであり、これらの育成には村の関与、支援が必要と思っています。主伐再造林を基本とした循環による事業量の確保が重要と認識しています。

7 宿泊税の用途は

問 増大する財政需要に因應するための重要な財源と述べられていますが、あくまでも観光振興のために活用すべき財源ではありませんか。

田中村長

特定目的税であり、用途は観光振興に限られます。

8 村民が安心して暮らすための地域医療

問 2週に1回のトمام歯科診療では安心できないと思いますがいかがですか。

田中村長

山村地域という厳しい環境で医療を提供いただいている医師には感謝しています。現在のトمام歯科の診療体制は課題と認識しており、元の体制に戻すよう努力します。

9 双民館の運営は

問 年間600万の運営費で約27万円の収入ですが、効果的、経済的な運営方法を考える必要はありませんか。

田中村長

採算性を重視した施設ではありませんが、鳥獣対策等で大きな効果があると思っていますので、公共性の評価については検討したいと考えます。

10 沿線のごみ焼却のこれから

問 上富良野町のごみ焼却施設の廃止が検討されていますが、どのような影響が考えられますか。

田中村長

富良野圏域でごみの分担処理を進めており、首長間、担当者間で話題となっていますが、具体的な議論は今後進めていく予定です。

11 事業の財源は

問 事業に対する財源として、利息がかかる起債ではなく、財政調整基金を活用すべきではありませんか。

田中村長

元利償還金に交付税措置のある過疎債の活用を基本とし、財源不足を補填する財政調整基金は積戻しを図りながら維持する考えです。

細谷 誠議員

1 高齢者や外国人に対する防災対策



問 高齢者や外国人が安心して暮らせる、細やかな防災対策が必要と思いますが考えを伺います。

田中村長

少子・高齢化の進展、外国人比率の増加など社会構造が大きく変化しています。激甚化する自然災害に対して、ハード面の整備をはじめ、外国人対策として多言語による情報伝達の強化、高齢者の方々には自主防災組織との連携により見守り強化を図るなど、ソフト面の充実を目指します。

2 持続可能な地域づくり

問 執行方針に地方自治・地方再生の推進と集落対策が新たに加わりましたが、インフラ整備など具体的な対策を伺います。

田中村長

各集落の状況を丁寧に把握するため、地域の皆様の声を聞き、交通や住環境の整備、生活環境や地域活動など課題の整理を進めていきます。

3 持続可能な森づくりの推進

問 「ゼロカーボンシティ

占冠一実現に向け、自伐型林業施業等の実施検証などを行い、山村地域の可能性と振興を図るべきと思いますが考えを伺います。

田中村長

現行の占冠村森林整備計画において高性能林業機械による効果的な林業システムを導入を推進してるところであり、ご指摘の施策については担い手の確保、採算性、既存の森林整備計画との整合性、課題含め慎重に検討していきます。

4 林業の六次産業化

問 新生産事業が新たな体制でスタートしましたが、木質バイオマスコンソーシアムの今後について伺います。

田中村長

湯の沢温泉の薪ボイラー導入に際し、本村のほか4者の構成により設立されましたが、木質バイオマス生産組合解散後もコンソーシアムは継続されます。

5 観光振興

問 道の駅周辺整備事業については令和8年度着工予定でしたが、執行方針で何も

触れられていません。今後のスケジュールを伺います。

田中村長

3年計画で進める考えでしたが、道の駅本体のリニューアルや機能強化を見据え、周辺整備と本体整備が将来一体的に機能するよう国、北海道と引き続き協議を進め、方向性が見えた段階で報告いたします。

6 下水道の老朽化対策

問 下水道施設のストックマネジメント計画に基づく更新計画を伺います。

田中村長

令和7年度でストックマネジメント計画の策定が終了し、今後詳細設計を経て国庫補助事業により整備を進めます。これから北海道と計画調整を行い、遅くとも9月には今後の計画を議会に報告できると考えています。

7 防災対策

問 自主防災組織の支援の具体的な内容を伺います。

田中村長

防災計画に基づき活動支援を行うとともに、防災訓

練時の職員派遣や災害マップ作成の協力などソフト面での支援を行います。

8 地域医療の充実

問 昨今の救急医療の実情に鑑み、トマムリゾートでのホテルドクター配置などの検討が必要だと思いますが、考えを伺います。

田中村長

星野リゾートに対し、ホテルドクターや看護師の配置を申し入れたことがありますが実現には至っていません。北海道との協議事項にもなるため、引き続き協議を継続していきます。

大谷 元江議員

1 持続可能な地域づくり



問 集落対策の見直しにあたっては、地域の特性を活かすため明確な考えをもつて進めていただきたいと思います。考えを伺います。

田中村長

地域ごとに抱えている課

※1用語解説「コンソーシアム」 共通の目的を達成するために、企業や大学、研究機関、自治体などが協力して形成する「共同事業体」や「連合体」を指します。大規模プロジェクトなどに取り組む際、それぞれが持つ専門知識、技術、資金、人材といった経営資源を持ち寄り、相乗効果を生み出すことを目的としています。

題は異なります。各集落の状況を丁寧に把握することからスタートし、集落対策の計画見直しを進めます。

2 村営住宅の環境整備

問 屋外の環境整備について、高齢者等は自身で行うことが困難な方もおり、空家を含めて村で対応いただくことも必要と思いますが考えを伺います。

田中村長

民間事業者が有料で行っていること認識していますが、村として対応が可能か精査します。

3 各種予防接種への対応

問 国の制度改正により接種料金も一部改正されますが、住民周知の方法について伺います。

伊藤課長

広報紙や定期接種の個別案内等で随時お知らせします。

4 不妊治療への費用助成

問 本年度から始まる先進不妊治療の一部助成について、内容を伺います。

田中村長
医療保険適用外の先進不妊治療に要する費用の一部と交通費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ります。

5 子育て支援の充実

問 こども誰でも通園制度が占冠保育所でもスタートしますが、保育所内の職員体制は対応できているのでしょうか。

田中村長

対象となる子は1名ですが、必要に応じ保育士を順次確保したいと考えています。無資格者であっても研修受講で要件を満たすため、会計年度任用職員にも受講を働きかけるなど、人材育成に努めます。

藤岡 幸次 議員

1 酪農・畜産に対する支援策



問 酪農・畜産の負担軽減策の規模や内容等を伺います。

田中村長

病気により自己淘汰した

繁殖素牛を補充するための導入経費について助成したい考えであり、その他農業者の方が望む支援策があれば6月定例会での提案に向けて検討します。なお、物価高騰対策については現段階で計画はありません。

2 私有林育成支援(植栽)

問 どのような強化策となるのか伺います。

田中村長

近年の労務単価、資材高騰による森林所有者の負担軽減策として、豊かな森づくり推進事業補助金の対象となっている植栽を新たに補助対象としたものです。

3 双民館の活用

問 従来の活用に加えて、文化芸能分野での活用の考えはないか伺います。

田中村長

双民館については郷土資料館の要素も含むことから、今後文化芸能等も含めて活用を検討します。

4 平和体験学習

問 広島に特化せず、例え

ば北方領土問題などにも目を向け、広く検討すべきと思うが考えを伺います。

田中村長

平和体験学習は教育を語る住民会議の主導により計

教育行政執行方針質疑



主な施策

1 学校教育の充実

- (1) 確かな学力向上の推進
- (2) 郷土に生きる力を育む教育の推進
- (3) 学びを支える教育環境の充実
- (4) 教職員の働き方改革の推進
- (5) 義務教育学校・小中一貫校の充実

2 社会教育の充実

- (1) 生涯学習の機会の確保と充実
- (2) スポーツ活動の推進
- (3) 芸術・文化活動の振興
- (4) 社会教育施設の活用促進

※執行方針の全文は、広報しむかつが4月号をご覧ください。

1 学校教育のサポート強化

下川 園子 議員

問 近年の学校教育は問題や課題が多様化しており、サポート体制の強化が必要

面立案し、村は助成する形態となっています。今後においては、様々な選択肢も視野に入れながら全体のものにしていければと考えます。

です。人材確保や配置、専門性の高い人材との協働体制などが必要ですが、どのような検討がされているのか伺います。

多田教育長

現状の教員定数では専門職の配置が厳しいため、外

※2用語解説「ストックマネジメント計画」 公共施設やインフラを「予防保全」の考え方で長寿命化し、維持管理費用を削減・平準化するための計画です。点検や予防的メンテナンスを計画的に行い、インフラの安全性とサービス水準を将来にわたって維持することを目的としています。

部のスクールカウンセラーの活用、近隣の教育委員会との連携による研修や専門知識習得のサポート、村費職員の積極的な雇用などを考えています。また、専門知識を有する外国人の登用ができないか検討しています。

小尾 雅彦 議員

1 社会教育施設の活用促進

問 中央プールの改修内容と諸手続きについて伺います。

多田教育長

屋根シートの全面改修を予定しています。財源の確保が最優先であり、起債や補助金が確保され、一般財源を極力投入しない形で検討します。

木村 一俊 議員

1 多様性による新たな教育課題

問 多様化、複雑化し、予測し得なかった教育課題とは何を指すのか伺います。

多田教育長

本村においても、不登校や学校の行き渋りも出て

るなど、多様な問題が出てきていると認識しています。

2 多様性の包摂

問 多様性に関して、それを障害・排除しようとする考えも一部に見られますが、認識を伺います。

多田教育長

上川管内の教育目標においても包摂を掲げており、それを学校も理解していますし、教育委員会もその方針に従って理解していきま

3 教職員の働き方改革

問 村では「業務量管理・健康確保措置実施計画」の効果判定及び評価につき、どのように対応していますか。

多田教育長

学校と教育委員会で検証し、それを総合教育会議等で報告し、ホームページで公表しています。

4 芸術・文化活動の振興

問 沿線合同文化交流会に対する村文化連盟での対応

を伺います。

多田教育長

秋の文化団体の交流とは別で、清流大学が参加しようとしているものです。

細谷 誠 議員

1 確かな学力向上の推進

問 児童生徒用の学習端末の更新にあたっては、多様化する生徒のニーズや効果的な活用に応じるためにも、他機種も選択肢に入れてはどうか考えを伺います。

多田教育長

北海道が主導する共同調達会議に参加しながら準備を進めています。コスト面や管理面、キーボード操作等の学習環境などから、引き続き同メーカーとした

2 生涯学習の充実

問 生涯学習の機会の確保と充実に努めるとありますが、具体的な内容を伺います。

多田教育長

労働講座、清流大学で開催している公開講座、住民

ニーズを取り入れた生涯教育に取り組めるよう、公民館、図書室、社会教育施設を活用した学習交流機会の提供を増やしていきたいと考えています。

3 スポーツ活動の推進

問 体力の向上、健康づくりに向けた取組については、何度も指摘していますが、一向に進んでいません。今後の対応について伺います。

多田教育長

大変反省しており、今後は全力で向き合う所存です。スポーツをするためのハード面での環境整備が整っておらず、簡易的なウォーキング、冬のクロスカントリースキー、スノーハイクなど、通年で何ができるか考え取り組んでいます。

大谷 元江 議員

1 日本語教育の必要性

問 学校に限らず、村内では外国人が増加し、異文化や多様性が進んでいます。大人も含めた日本語教室が

必要と考えますが、考えを伺います。

多田教育長

日本語学習の機会の確保は重要ですが、今の時点で日本語教室を積極的に実施する考えは持っておらず、人的交流から始めていければと考えています。

2 教育支援体制の強化

問 教職員数が減少する中であって、教育支援員の更なる増員が必要と思えますが考えを伺います。

多田教育長

増員は必要と認識しており、ニーズに合う人材がいれば予算の範囲内において積極的に登用します。

3 社会教育施設の活用促進

問 運動公園内の未利用部分の利用見直しを検討するところありますが、具体的な内容を伺います。

多田教育長

未利用部分の再利用・廃止を含め、関係機関の意見や住民懇談会等の意見を参考に、活用方策を検討する考えです。

令和8年度予算 39億4,470万5千円を議決



小尾委員長

予算特別委員会（小尾雅彦委員長）を3月11日に開催し、活発な質疑が展開されました。主な質疑の内容をお知らせします。（傍聴者0人）

令和8年度 各会計別予算

会計別	予算額	前年度比
一般会計	32億3,700万円	▲ 0.86%
特別会計	3億7,540万円	0.45%
国民健康保険	1億2,320万円	▲ 1.83%
村立診療所	8,740万円	1.39%
介護保険	1億1,630万円	▲ 0.43%
後期高齢者	2,430万円	10.45%
歯科診療所	2,420万円	4.31%
公営企業会計	3億3,230万5,000円	▲ 8.41%
簡易水道事業会計	1億9,266万3,000円	▲ 14.29%
公共下水道事業会計	1億3,964万2,000円	1.16%
予算総額	39億4,470万5,000円	▲ 1.42%

一般会計

▼歳入

問 細谷委員

地方交付税を増額計上した理由を伺います。

三浦課長

令和8年1月の総務省の通知により判断し、令和7年度の普通交付税の交付実績に2・5パーセントをプラスして算出しました。

問 木村委員

特用林産物等加工施設使用料として210万円が計上されていますが、積算根拠を伺います。

鈴木課長

メープル工房の月額使用料1万4,500円に加え、使用者に対し実費請求できる光熱水費や燃料費を勘案し、既存のジビエ工房の実績を参考に算出しました。

問 木村委員

地域づくり総合交付金が173万円と前年度より倍増した理由を伺います。

石坂課長

福祉避難所の環境整備事業として、保健福祉セン

ターへのエアコン設置に75万円を充当するため、当該部分が前年度から増額となりました。

問 木村委員

北海道宿泊税徴収取扱費300万円の積算根拠を伺います。

平岡課長

宿泊税徴収システム費用に係る経費を600万円と見積もっており、その2分の1の額を計上しました。

問 細谷委員

大半の基金繰入金が前年度より減額計上されている理由を伺います。

三浦課長

基本的には基金からの繰入れは抑制すべく、必要最小限の繰入れにとどめました。全体で約1億円の減少であり、普通交付税を1億円増加計上した跳ね返りという形になっています。

問 細谷委員

デジタル基盤改革支援補助金内容及び前年度から減額となった理由を伺います。

す。

伊藤課長

※3 地方公共団体情報システム標準化・共通化事業6,690万円に対する補助金です。令和7年度中に移行した、戸籍システム、障害福祉システム、健康管理システム以外の対象システムについて、令和8年度末までにガバメントクラウドを利用した標準化・共通化の本格稼働を行うため、データ移行や環境設定等を行うものです。

令和7年度において一部システムが移行済みであり、前年度比で減額計上となりました。

▼歳出

総務費

問 木村委員

ふるさと納税管理業務委託料の減額は、取組を強化しようとする流れに逆行していると思いますが考えを伺います。

平岡課長

ポータルサイト運用、返礼品の受注発注等について、村内事業者へ委託をし

※3 用語解説「地方公共団体情報システム標準化・共通化」各自治体が個別に構築・運用してきた住民記録・税・福祉などの情報システムを国が定めた標準的な仕様に統一し、共同で利用できる形にすること。国による共通のクラウド環境下（ガバメントクラウド）で運用します。

ているものです。令和7年度より行っており、実績等を勘案して60万円を減額しました。

問 木村委員

防災・減災備品整備事業 239万円の内容を伺います。

三浦課長

ヒグマ監視や生態観察、市街地侵入防止の見張り等で使うドローンの更新と、ニノウ地区の停電時に揚水ポンプで使用する発電機の購入を予定しています。

問 細谷委員

宮下行政区備品購入補助金の内容を伺います。

三浦課長

一般財団法人自治総合センターの宝くじ社会貢献事業であります。コミュニティ助成事業を活用し、宮下行政区とタイアップして、ワンタッチテント5張、イベント用イス・テーブル10セット、発電機及び保管用の物置を購入するものです。

問 下川委員

有料求人広告の媒体やその効果を伺います。

三浦課長

保健師や保育士といった人材確保が非常に困難な職種に対応するものです。令和7年度は「インディードプラス」や「マイナビ」を活用しており、採用には至りませんでした。各サイトを通じて複数名の応募がありました。求人の有効な手段の一つであり、引き続き活用したい考えです。

問 下川委員

トマム地区公園の維持管理に関する予算が見受けられないが、どのような方法で管理するのか伺います。

阿部トマム支所長

公園内と周辺の草刈りを予定していますが、令和8年度当初予算での計上を失念したため、直近の議会において補正予算を提案させていただきます。

問 下川委員

戸籍住民基本台帳費の通信運搬費が1,694万円

と倍増しているが、今後も経常経費として毎年発生するのか伺います。

伊藤課長

地方公共団体情報システム標準化・共通化に移行後の回線使用料3か月分と、移行前の既存システム9か月分を計上しています。9年度は完全移行後の予算となるため、さらに増額となる見込みです。

民生費

問 木村委員

福祉避難所に対する整備工事が計上されていますが、水害が想定される保健福祉センターが福祉避難所としてふさわしいのか疑問があります。見解を伺います。

三浦課長

一般的には災害の種類に合わせて、適切な避難地を選択するという方法がベストですが、防災計画における福祉避難所の定義として「一般の指定避難所の中で生活することが困難な要配慮者が滞在できる一時避難所」という位置付けであり、本

村の場合はどうしても福祉系の施設にせざるを得ないという事情があります。

問 細谷委員

占冠村小規模多機能型居宅介護施設環境整備工事 370万円の内容を伺います。

石坂課長

定期メンテナンス、シーケンサの交換、外壁補修及びスロープの塗装を行う予定です。

問 下川委員

障がい者基本計画他策定支援業務、こども計画策定支援業務にはアンケート作業も含まれていると思いますが、単なる書面回答ではなく、回答率の上がる方法が必要と思いますが、考えを伺います。

石坂課長

基本的には書面でのアンケートを想定していますが、必要に応じて個別の聞き取りなども検討します。

問 大谷委員

保育所費の工事請負費

125万円の内容を伺います。

阿部支所長

トマム保育所に職員向けの大人用トイレを1箇所増設するものです。これにより保育スペースが減少することはありません。

衛生費

問 下川委員

資源回収センター共同処理管理運営費負担金について、前年度より約200万円増額となった理由を伺います。

岡崎課長

中富良野町で共同処理しているペットボトル、カン、プラスチック等の処理作業に係る負担金ですが、受託業者より労務単価の見直しが求められたため、沿線市町村で協議の上増額するものです。

農林業費

問 木村委員

家畜自衛防疫事業補助金 40万円の内容を伺います。

鈴木課長

村内で牛のヨーネ病が発生していることから、融雪

後に強力な消毒薬を用いて牛舎消毒を行う予定であり、自衛防疫組合に経費を助成し、対策を速やかに行っていただきます。

問 木村委員

地域林業振興事業補助金250万円について、7年度は事業実施できずに全額を減額補正しています。8年度は執行できる見込みですか。

鈴木課長

皆伐や間伐などの事業の集約化を図る際、高性能林業機械の使用に係る部分の経費を補助するものです。現時点で計画はありませんが、希望があった場合にすぐ対応できるように、1件分を計上しました。

問 藤岡委員

モービルマッピングシステムコンサルティング業務委託料302万円の内容を伺います。

鈴木課長

レーザーやカメラ、GPSなどを装着した専用車を用いて、林道や作業道等の

三次元データの構築を図ろうとするものです。昨年締結した持続可能な森づくりに関する基本合意書に基づき、林業DX化の取組であり、航空機を用いた資源量調査と合わせて検証を進めます。

問 藤岡委員

林業専用道タンネナイ線工事について、今年度は500メートルの施工ですが、最終的な計画延長はどのくらいか伺います。

鈴木課長

500メートルの計画ですが、先日現地踏査を行ったところ、勾配を抑え、使いやすい作業道にするためには若干延長が伸びる可能性があります。

商工費

問 細谷委員

占冠村協働型地域おこし協力隊受入業務646万円の内容を伺います。

平岡課長

令和7年度より、村が隊員を委嘱し、観光協会に受入に関する業務を委託し、

地域協力活動を進めています。具体的には、観光情報の収集と発信、観光資源の開発掘り起こし、イベントの企画運営、観光客誘致促進に向けた企画立案、観光プロモーション事業の実施、観光協会の管理運営業務等であり、新たな特産品づくりにも取り組んでいるところです。

問 藤岡委員

湯の沢温泉長寿命化事業690万円の内容を伺います。

平岡課長

温泉循環設備及び給油設備の更新を行うものです。

問 木村委員

湯の沢温泉長寿命化事業は観光振興の目的でもあり、宿泊税を活用してはいかがですか。

平岡課長

宿泊税を活用できる施設だと思っていますが、他に宿泊税を充当する事業を設けており、本事業は全額起債による予算組みとしました。

土木費

問 細谷委員

橋梁3橋の補修工事費が計上されていますが、今年度の実施内容と今後の計画を伺います。

岡崎課長

占川橋は伸縮装置の取替工事、橋面防水工事を予定しており、8年度で完成予定です。東5線橋は断面補修工と支承の取替工事、支承のモルタル補修工事を予定しており、9年度に完成の見込み、11号橋は断面修復工事、護岸の根固めブロック工事を予定しております。9年度の完成を見込んでいます。

教育費

問 下川委員

北海道歌旅座ザ・コンサート実行委員会補助金が新たに計上されましたが、内容を伺います。

木村次長

北海道歌旅座によるコンサートを通じて、地域住民への文化芸術鑑賞の機会を提供するもので、実行委員会形式をとることで、住民

主体による地域協働の取組を促すことを目的としております。昭和歌謡など中高年に親しみやすい内容が多く、2015年に実施した際は大変盛り上がり、高齢者の外出機会の創出にも寄与するものと考えております。

問 細谷委員

村営プール長寿命化工事の内容を伺います。

木村次長

中央プールの上屋シートを更新します。使用開始から20年近く経過し、全体が柔軟性を失っていることから、突風などで破損する危険性があります。

再問 細谷議員

トムムプールも相当の年数が経過していますが、更新予定はありますか。

多田教育長

トムムプールも使用年数にさほど変わりはなく、財源も含めて検討中です。

問 藤岡委員

神楽保存会補助金が10万円計上されていますが、も

う少し手厚い助成を行い、村の重要な文化芸能を継承し保存することが重要だと思いますが、考えを伺います。

多田教育長

神楽保存会からの申請額に基づいて計上してあります。過去に広島神楽と相互交流を図ったことがありますが、そういった取組も文化の継承を図るためには重要なものと認識しています。財源の問題はありますが、保存会と協議しながら予算付けについては検討させていただきます。

国民健康保険特別会計

問 木村委員

国民健康保険税が前年度比200万円減となり、新たに国保財政調整基金繰入金で300万円計上されています。令和12年度の北海道統一保険料導入時に必要な基金であり、基金の枯渇が心配されますが大丈夫ですか。

伊藤課長

令和12年度の統一保険料開始に向け、大幅な税率引き上げとらないよう、

1,700万円程度の基金を活用する必要があり、計画には基金が枯渇することはありません。

村立診療所特別会計

問 木村委員

外来収入が前年度比280万円の減額計上ですが、6月の診療報酬改定で増額が見込まれる中で、このような予算計上となった理由を伺います。

伊藤課長

前年度実績を勘案して算出しており、患者数の減少を加味しました。

介護保険特別会計

問 下川委員

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査委託料の目的、対象者について伺います。

石坂課長

第10期高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画を策定するにあたり、65歳以上の一般高齢者、介護認定を受けていない方及び要支援1・2の高齢者を対象に日常生活や健康状態や社会参加状況などを伺い、計画策定のための資料とするもの

歯科診療所特別会計

問 木村委員

トマム地区の患者を占冠歯科に送迎するための委託料9万8,000円の計上理由を伺います。

伊藤課長

前年度に引き続き24回分を計上しました。

再問 木村委員

7年度の利用実績は1回とのことですが、過剰な積算ではありませんか。

伊藤課長

実績はそのとおりですが、不足を生じないよう24回分を計上しました。

簡易水道事業会計

問 木村委員

今年度から道道道4車線工事が本格化し、宿舍が増加することによって給水に影響が発生しませんか。

岡崎課長

宿舍建設による影響はないと考えていますが、今後パーキングエリアが完成することにより検討が必要と認識しています。

令和8年第1回富良野広域連合議会定例会報告

令和8年第1回富良野広域連合議会定例会が2月9日に開催され、連合長から行政執行方針が述べられたほか、補正予算案及び新年度予算案、条例案が原案のとおり可決されました。また、広域行政に関する一般質問は、「公共串内牧場における小型ピロプラズマ症への対応」について、金子益三議員（上富良野町）から広域連合長に対し行われました。

※予算 ○令和7年度富良野広域連合一般会計補正予算（第4号～第6号）……歳入歳出それぞれ4,059万4,000円を追加
総額 25億1,757万9,000円（第3号）⇒25億5,817万3,000円（第6号）

令和8年度富良野広域連合一般会計予算（概要）

単位：千円

歳入区分	予算額	前年度比	歳出区分	予算額	前年度比
分担金及び負担金	2,217,144	74,468	議 会 費	3,892	341
使用料及び手数料	20,365	△ 15,999	総 務 費	51,252	602
財 産 収 入	3,305	188	衛 生 費	272,990	1,128
寄 附 金	1	0	農 林 業 費	67,688	△ 12,401
繰 越 金	1	0	消 防 費	1,519,370	60,621
諸 収 入	240,504	3,650	教 育 費	591,129	8,594
連 合 債	58,900	△ 12,200	公 債 費	52,983	△ 5,178
国 庫 支 出 金	22,084	3,600	予 備 費	3,000	0
歳 入 合 計	2,562,304	53,707	歳 出 合 計	2,562,304	53,707

※条例の改正 ○富良野広域連合議会議員及び特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
○富良野広域連合職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
○富良野広域連合職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の一部改正
○富良野広域連合火災予防条例の一部改正

※その他会議に付した案件 ○監査委員報告：例月出納検査結果報告（令和7年度9月分～12月分）、令和7年度定期監査報告



おびまさひこ
小尾 雅彦 議員

▶太陽光発電（メガソーラー）の建設規制

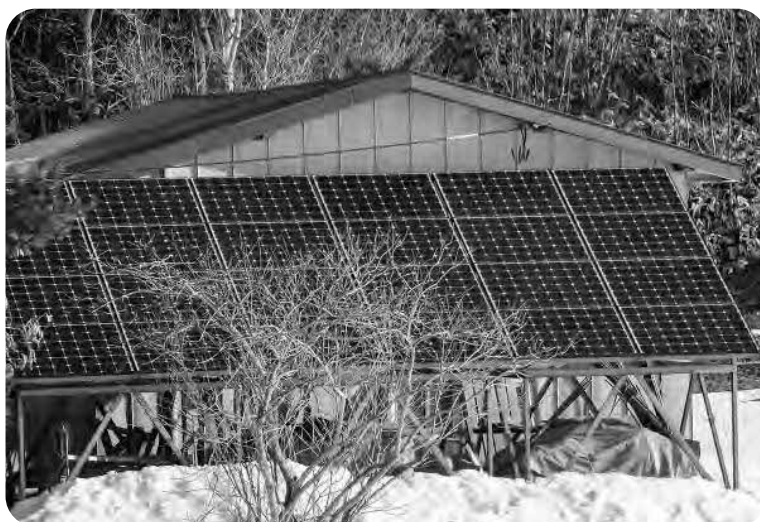
▶教育現場における外国人の就学体制

1 太陽光発電（メガソーラー）の建設規制

問 道内各地で太陽光発電施設が建設されています。一方で釧路市や三笠市では、法令違反や住民と事業者とのトラブルが生じています。村内は94%の森林で建設に適する用地は少ないですが、休耕農地の転用や森林を伐開しての設置も想定されます。道内では29市町村で建設を規制する条例が制定されています。村の景観条例での規制は無理があると考えますが、認識を伺います。

田中村長

再生可能エネルギーの導入促進という国の方針がある一方で、景観への影響や防災上の懸念、自然環境との調和など地域として慎重に考慮すべき課題もあると認識しております。無秩序な開発を防ぎ、住民の安全安心や景観、環境を守る必要性は十分認識しており、国、道の動向や他自治体の事例を踏まえ、本村でも条



家庭用ソーラーパネル

2 教育現場における外国人の就学体制

例による対応が必要かどうか総合的に検討します。

問 村ではトマムリゾート

施設で働く外国人が多く、地域住民に占める外国人の割合が全国最高の36・6%です。トマム学校では全校児童生徒14人中6人が外国籍の現状にあります。また、

校長、教頭も教壇に立つ現状では、日本語の就学度に依りて個別指導をする余力がなく、子供達の学びを支援するには限界があります。現状の学習支援体制をどのように捉えているのか伺います。

多田教育長

外国籍の児童生徒6人中1人が、特別課程に基づき取り出し授業を含めた日本語指導及び教科指導が必要と認識しています。

問 今後の対応策等に関して、学校現場と協議はされているか伺います

多田教育長

対象の児童生徒に対し、特別の教育課程を編成してその対応に当たっています。新年度から対象児童生徒が2人増加の見込みで

あり、十分な教科指導時間が確保できるよう教員に準ずる会計年度職員が一部の授業を受け持てる体制を協議、合意しています。

再問 先般、トマム学校長とお話ししましたが、教育委員会は前向きに取り組んで頂いているとのことでした。私が危惧していることは、先生や学習指導員の方々が通常業務の他、夜間や休日でも対応されている現状があることです。教育長はこの現状をどうお考えか伺います。

多田教育長

学習指導員や校長等が中心となり、特別課程を実施されています。今後は地域のボランティアに頼らない学校での日本語指導に力を入れられる体制を作りたいと考えています。教員の加配も道へ働きかけるとともに、村費で人材を確保をし、外国人の人材も活用しながら体制の整備をしていきたいと考えています。



こばやし じゅん 議員
小林 潤 議員

▶高齢化や後継者不在農家の支援

▶令和8年度役場職員の採用

1 高齢化や後継者不在農家の支援

問 令和7年度村政執行方針において、「地域農業者との融合を図りながら、本村の農業に必要な支援を行ってまいります」と述べられていますが、具体的にを行った支援とその効果について伺います。

田中村長

後継者不足により離農された方の経営する農地について調整を行い、認定新規就農者あるいは、拡大志向の認定農業者へ集積し遊休農地発生を未然に防ぐことができたと考えております。

問 農業振興新規就農等支援対策補助金が予算計上されておりますが、就農計画書を提出された方はいたのか伺います。

田中村長

令和5年度に認定した青年等就農計画を最後に新たな就農計画の提出はありませんでした。

問 高齢化や後継者不在農家の支援、新規就農支援等の取組の検証及び今後の事業推進に対する方向性を伺います。

田中村長

高齢化や後継者不足は喫緊の課題であり、これまでの支援により一定の新規就農者の確保はできているものの、離農による空白を完全に埋めるまでには至っておりません。今後は、住環境や地域コミュニティへの定着、さら



新規就農者として活躍する鈴木僚さん
(中央第2)

に以前の議会でも議論のあった幅広い年齢層の受け入れや、多様な就農形態、第三者継承の推進なども含めて、本村農業の持続可能性を高める政策を一体的に進める必要性を再認識しております。

2 令和8年度役場職員の採用

問 少子化に伴う18歳人口の減少により、ここ数年地方公務員試験の受験者数に大きな影響を与えています。本村では、令和8年度採用に向け一般行政職若干名、消防職1名、林業職1名、保育士1名、保健師1名の募集を行っています。昨年は、一部の職種で応募がありませんでしたが、令和8年度の採用(内定辞退)状況について伺います。

田中村長

今年度におきましては、消防職1名、一般行政職2名の内定辞退がございました。林業職などの一部の職種については、応募がなく、保健師については、数件応募があつたものの採用には至りませんでした。令和8年度採用者は、一般行政職3名、保育士1名となっております。上川管内町村等職員採用試験では、受験生が増加しているものの民間企業等との競争激化や、若年人口の減少等により、多くの自治体で人材確保に苦慮している現状にあります。

問 本村の場合、令和7、8年度の職員採用は、必ずしも希望通りの採用となっておりません。来年以降も、この状況が続くと思われませんが、今後における職員の人材確保に向けた方策について伺います。

田中村長

本村では、就職説明会への参加やホームページ等を活用した情報発信に努めております。また、有料求人広告等も活用し従来の枠にとらわれることなく、様々な募集活動を行い必要な人材確保に努めてまいります。



ふじおか よしつぐ
藤岡 幸次 議員

▶外国人との共生

▶大規模災害・自衛隊訓練誘致

▶将来に向けた日本ハムファイターズ3軍誘致

▶環境保全・星空と蛍の里



しむかつぶカルチャー交流DAY【12月21日】

1 外国人との共生

問 外国人比率日本一の本村において、多文化共生の現状認識と取組について伺います。

田中村長

平成29年のクラブメット北海道トマム開業に伴い大幅に外国人が増加しました。地域経済維持のためにも外国人との共生は不可欠と考えています。課題としては、言葉の壁があり、行政手続きや医療機関の受診、防災情報の理解、生活ごみ処理のルール理解などに不安要因があります。ま

た、お子さんの学習支援も大きな課題です。対策として各種講習会の開催や占冠カルチャー交流会など、地域との交流推進策に取り組んでいます。

問 多文化共生は国としても課題であり、今後国や道とどのような連携を図り、取組を進めるのかお聞きします。

田中村長

公益社団法人北海道国際交流協力総合センターの移動相談会を過去2回開催しており、今年度についても開催に向けた検討、調整を図り、課題解決に向けて取り組めます。

2 大規模災害・自衛隊訓練誘致

問 大規模災害発生時の救援・復旧支援の観点から自衛隊との関係強化は重要と思うが認識を伺います。また、迅速な対応に備えて自衛隊による訓練に向けた現地調査の要請をすべきと思うが考えを伺います。

田中村長

大規模災害時における自衛隊との連携は、村民の生命財産を守る上で重要と考えます。引き続き要望活動や情報交換会参加を継続していきます。また、自衛隊訓練に向けた取組については、本村の現状を踏まえ現地調査、課題検討を進める段階にないと考えます。

3 将来に向けた日本ハムファイターズ3軍誘致

問 スポーツ振興を目的に、日本ハムファイターズとの関係強化を図ることは有効であり、将来的なファイターズ3軍練習誘致に向けた協議と応援団設立を進めるべきと思うが考えを伺います。

田中村長

青少年の健全育成の観点から、道民に夢と希望を与える存在であり、連携を深めることは意義があると考えます。練習誘致については、野球場が硬式野球に対応しておらず困難と考えます。応援団設立については、

4 環境保全・星空と蛍の里

今後機運が高まり活動が立ち上がる場合は可能な範囲で協力します。



応援大使で贈呈されたユニフォーム

問 本村の星空のすばらしさと、蛍の見られる環境についての認識をお聞きします。加えて、星の観測設備、蛍を含めた川の観察環境整備に取り組む考えは無いか伺います。

多田教育長

本村の星空と蛍の見られる自然環境は唯一無二の環境と認識しています。星の観測設備、蛍や川の観察設備整備につきましては、各方面より情報をいただきながら検討してまいります。



ほそや まこと 議員
細谷 誠

▶道の駅周辺整備計画

▶道の駅の全体的な将来設計は



道の駅周辺

1 道の駅周辺整備計画

問 令和6年度に基本計画を策定、令和7年度に関係省庁と協議を進め、計画では令和8年度着工予定ですが、計画案が示されていない現状で周辺整備によりどのような効果が得られるのか伺います。

田中村長

詳細な内容は固まっておりませんが、利用者の安全性と利便性の向上に務めたい考えであります。日程的な遅れは大変遺憾に思っているところです。

問 令和8年度の着手に向けた現在の進捗状況、予算

化の見通しについて伺います。

田中村長

各種関係省庁との調整、調査を行っていますが現状前に進める見通しは立っていません。道の駅全体の計画を見据えて調査、調整を行っていきます。

問 今後議会及び住民への説明は行うのか伺います。

田中村長

私の選挙公約にも掲げる大事な事業です。十分な説明は当然これからやらなければいけないと考えています。

2 道の駅の全体的な将来設計は

問 国土交通省が提唱する道の駅「第3ステージ」の

概念を取り入れ、地域の特性を活かした道の駅のブランドデザインや将来設計はあるのか伺います。

田中村長

道の駅「第3ステージ」は従来型の休憩施設や観光拠点という位置付けを超えて、地域経済の活性化や防災機能の強化など、地域課



道の駅全体

題の解決拠点としての役割が期待されています。本村道の駅においても方向性を踏まえ、リニューアルについての検討を進める考えですが、リニューアルには多額の財源が必要になることから、各種支援制度の活用など国土交通省や北海道など関係機関との協議を進めていきます。

問 周辺整備を所管する建設課と、道の駅の運営や魅力創造を所管する企画商工課との間で、将来像に向けた意思の統一、合意形成は取れているのか伺います。

田中村長

道の駅整備につきましては建設課と企画商工課が連

携して取り組むことが不可欠であり、これまでも横断的な連携は図られています。今後の道の駅全体の機能強化や利便性向上との整合性を意識し、両課情報共有し、道の駅全体の方向性を固めていきたいと考えています。日程の遅れは政策の一つとして進めてきたことであり大変残念な思いであります。

国土交通省が提唱する道の駅「第3ステージ」とは

- ▶「第1ステージ」……通過する道路利用者のサービス提供の場
- ▶「第2ステージ」……道の駅自体が目的地
- ▶「第3ステージ」……地域創生・観光を加速する拠点(地域、街と連携し、観光や防災などさらなる地方再生に向け官民の力を合わせ、稼ぐ地域経営の拠点として力を高め新たな地域づくりに貢献)



おおたにもとえ 大谷 元江 議員

▶ 占冠地区における集落対策の今後は

1 占冠地区における集落対策の今後は

問 占冠地区の人口は減少の一途をたどり、高齢化も顕著で、このままでは地域が消滅するのではと危惧しているところですか。集落対策方針が5年前に見直されてからも何の変化もなく、70代が若手どころか、今や80代近くの方が若手という状況です。今後、集落対策をどのように進めていくのか伺います。

田中村長

集落対策については、村政の課題として重く受け止めております。現状の集落点検も実施し、地域の実状にも応じた集落の維持、活性化につなげていきたいと考えています。

問 占冠地区を



高齢化が進む占冠地区

ノづくり地区に位置づけられているようだが、住む所がありません。集落対策では実態を把握して、若い人が地域に入ってくるような環境にする考えはあるのか伺います。

田中村長

地域ごとで抱えている課題は異なります。聞き取りを行うところから改めてスタートし、生活環境や地域活動の維持等に関する課

題の整理を進めてまいります。若者の定住を進めるためには、雇用の確保、住宅環境が重要であることから、子育て世帯の支援を拡充すべく、定住促進条例の一部改正のほか、教員住宅の用途変更に向け手続きを進めたいと考えています。

問 高齢化が進む地域では、入居できる住宅確保が重要です。人が入ることで相互扶助や活性化が進み、地域コミュニティも広がります。集落対策は紙の上だけの調査ではなく、現実味及び実効性のある調査であることが必要ですが、考えを伺います。

田中村長

集落対策方針の見直しをする中で、何が有効で実行可能なのかも含め、地域の意見も伺いながら、前へ進めてまいります。

議員派遣

富良野沿線市町村議会議員研修会

12月15日 富良野市

富良野沿線5市町村の議会議員、事務局職員62名が参集し、本村からは7名の議員が参加しました。

前日からの暴風雪対応で講師が来場できず、あいにくオンラインでの講演となりましたが、旭川開発建設部道路計画課 木村課長補佐より「旭川開発建設部の道路事業」と題し、現在事業中の旭川十勝道路をはじめとした道路施策や、道の駅第3ステージなど各種ソフト施策について説明を受けました。

また、各地域における実態や課題などを踏まえた質疑応答も活発に行われるなど、道路行政に対する知見を深めることができ、大変有意義な研修となりました。



議 員 の 主 な う ご き

令和7年第5回占冠村議会
定例会(12月12日)以降



占冠中学校卒業式

- 12月12日 議会広報特別委員会(各委員)
- 15日 富良野沿線市町村議会議員研修会(富良野市-各議員)
- 16日 令和7年第8回占冠村コミュニティ・スクール議会(各議員)
- 1月 5日 令和8年占冠消防出初式、新年祝賀会(各議員)
- 10日 令和8年占冠村二十歳を祝うつどい(議長・副議長)
- 14日 議会広報特別委員会(各委員)
- 21日 議会運営委員会(各委員)
- 令和8年第1回占冠村議会臨時会(全議員)
- 議員勉強会(全議員)
- 議会広報特別委員会(各委員)
- 28日~29日 上川町村議会議長会役員会(旭川市-議長)
- 2月 6日 令和7年度中学生短期交換留学事業(派遣)報告会(各議員)
- 6日~7日 上川町村議会議長会定期総会及び行政懇談会(旭川市-議長)
- 10日 上川教育研修センター組合議会令和8年第1回定例会(旭川市-議長)
- 13日 令和7年度富良野地域人材開発センター連絡会議(上富良野町-議長・副議長)
- 令和7年度富良野沿線市町村長・正副議会議長合同会議(上富良野町-議長・副議長)
- 19日 議会運営委員会(全委員)
- 全員協議会(全議員)
- 25日 議会運営委員会(全委員)
- 3月 2日 道北地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会令和7年度総会(旭川市-林活議連正副会長)

【富良野広域連合議会関係】

- 1月26日 富良野広域連合議会議員勉強会(広域連合議員)
- 2月 3日 富良野広域連合議会議会運営委員会(富良野市-広域連合議員)
- 富良野広域連合議会全員協議会(富良野市-広域連合議員)
- 9日 富良野広域連合議会令和8年第1回定例会(富良野市-広域連合議員)

議会はどなたでも気軽に傍聴することができます



児玉議長

傍聴するのに特別な服装や準備は必要ありません。途中入場や途中退場も自由です。傍聴人は自由に写真やビデオを撮ったり、録音することができます。議場は総合センター(役場庁舎)3階です。お気軽においでください。



大谷副議長

今後の
予 定

6月定例会 → 6月18日(木)・19日(金)

※いずれも午前10:00開会

※議事内容等により、日程を変更する場合があります。

広報からのお知らせ
各行事等では広報の取材・写真撮影をさせて頂いていただいております。広報への掲載をご承諾いただけない場合は、その場でお申し出いただくか事務局までご連絡ください。

▼議会広報特別委員会(後期)

- 委員長 藤岡 幸次
- 副委員長 小林 潤
- 委員 小尾 雅彦
- 委員 大谷 元江

3月の議会定例会は、令和8年度に向けての村政執行方針・教育行政執行方針が提起され、各議員からの質疑が活発に行われるとともに、令和8年度予算も可決され、村民の暮らしの施策がスタートしました。また、今年度から新しく宿泊税の徴収も始まりました。

異常気象・地球温暖化・長期化している戦争など世界に目を向けなければならぬことが色々ありますが、日々の暮らしを大切にしていきたいと思えます。

(大谷)

編集後記



長い冬の季節が終わりを迎え、占冠にも新しい芽ぶきの季節がやってきました。

この議会日より皆さんに届く頃には桜の便りも近づいていることと思います。

定例会毎に発行しています議会だよりは「見やすく、読みやすい」ものになっているでしょうか？

発行:占冠村議会 編集:議会広報特別委員会

〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央 TEL 0167-56-2191 FAX 0167-56-2184
URL <https://www.vill.shimukappu.lg.jp>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。